

25年度12月学校教育活動アンケートの分析

(12月個人懇談時に実施：全407通)

成 果

- 評価基準で、「4. そう思う」が50%以上であった項目は、「嵯峨中パレードなど、特色ある教育活動に取り組んでいる」が65%、「学校行事や生徒会活動及び部活動が活発である」が53%、「子供には仲の良い友達がいる」が50%、ということで、3項目が評価が高かった。
- 「4. そう思う」と「3. ほぼそう思う」を合わせると、16項目のうち12項目が80%を超える数値を示した。
- おおむね高い評価をいただいていると考えている。

課 題

- 「4と3」で、80%に届かなかった4項目は、①「学習の施設や設備など、学習の環境は整備されている」(72%)《・・・「2. あまり思わない」が22%である。》、②「教職員は家庭との連携を密にしている」(74%)《・・・「2と1」を合わせると19%》、③「保護者の方や生徒が気楽に相談できる雰囲気がある」(78%)、④「生徒が集中して学習に取り組んでいる。」(79%)であった。
- 校内の環境整備については、予算を鑑みながら、順次改善していきたい。
- 教職員と家庭・生徒とのかかわりが薄くならないように、必要に応じたかかわりを適切にしていかなければならない。そのためには、状況に応じた主任級のアドバイスが必要であろう。
- 学習に対する生徒の集中度が、さらに向上するように、授業改善に積極的に、地道に取り組んでいく必要がある。

学 校 関 係 者 評 価 か ら

- 学校と地域が連携をして取り組み、生徒における教育的効果を上げていることは、評価できる。今後もさらに推進して行ってほしい。地域としても協力をしていく。
- 京都嵯峨学園として、小学校と中学校が連携をしての取り組みもさらに進めてほしい。
- 今後は、広報活動にも力を入れて、地域住民が理解を深め、学校の応援団として動いてもらえるようにしてください。